

R6 年度 市民科学発表会を開催しました【開催報告】

令和 6 年 7 月 31 日、市民科学の更なる普及発展につなげることを目的として、下水道展'24 東京の併催企画として、国土交通省主催の「市民科学発表会」を対面、及びオンラインで開催いたしました。対面及びオンライン会場、あわせて 50 名の方々にご参加いただきました。

今回は新型コロナウイルス拡大以降、初の対面での開催でした。前年度に引き続き、サテライト会場の設置、オンライン併用とすることでより活発な意見交換ができました。

本発表会は 1 部構成として開催し、第 1 部は山梨大学西田教授に「市民と考える水のフェーズフリーとシフトダウン」のテーマで、市民科学の話題提供をしていただきました。第 2 部は「学校や市民団体等の日頃の活動紹介と下水道を取り入れた市民科学の提案について」をテーマに、科学部で活動する中高生、大学生、市民団体、下水道管理者といった幅広い団体(8 団体)から様々な活動の取り組みについてご発表いただきました。

第 2 部の発表概要は以下の通りです。

発表① 横浜市立富岡中学校 科学部「森の川から横浜の海へ～fell 度 walk で見えたもの」

- ・団体の紹介:学校の近くを流れる大岡川の水質調査や、マイクロプラスチックによる海の汚染の調査等、身の回り問題を積極的に発信する活動を実施している。

【発表資料】

https://www.gk-p.jp/wp-content/uploads/2024/07/1_tomioka2024.pdf

発表② 横浜市立舞岡中学校 科学部「舞岡川にすむ生物と下水道の関係性について」

- ・団体の紹介:全校生徒や近隣の小学校・中学校などにも協力を得て行うハグロトンボ調査、羽に番号を振ることでの行動調査、舞岡川の水質調査、生物調査等の取り組みを行っている。

【発表資料】

https://www.gk-p.jp/wp-content/uploads/2024/07/2_maioka2024.pdf

発表③ 東京農業大学生産環境工学科水利施設工学研究室「下水資源を活用したスマート農業の挑戦」

【発表資料】

https://www.gk-p.jp/wp-content/uploads/2024/07/3_tokyonoudai2024.pdf

発表④ 山梨大学 国際流域環境研究センター「小さな水サービスの提案～能登半島における分散型排水システムの実験～」

・団体の紹介:水工分野、水質分野、微生物・環境技術分野、健康・社会影響分野から、水と暮らしに関する研究活動を実施している。大学院教育を通じた人の育成も行っている。

【発表資料】

https://www.gk-p.jp/wp-content/uploads/2024/07/4_yamanashidai2024.pdf

発表⑤ 愛知県立豊田西高校科学部「下水道で「旨い」を作る」

・団体の紹介:生物班・化学班・物理班・数学班・地学班などに分かれて、研究活動を中心に実施している。自治体の他、企業や大学との繋がりでの共同研究プロジェクト等も積極的に実施している。

【発表資料】

https://www.gk-p.jp/wp-content/uploads/2024/07/5_toyotanishi2024.pdf

発表⑥ 豊田市上下水道局「マンホールアップサイクルプロジェクト」

【発表資料】

https://www.gk-p.jp/wp-content/uploads/2024/07/6_toyotacity.pdf

発表⑦ 諏訪湖クラブ「水環境保全技術と地域連携」

・団体の紹介:諏訪湖周辺の環境・自然エネルギーに関わる問題などに取り組みながら、諏訪湖と周辺の暮らしを考える市民グループ。諏訪湖の水質調査や浄化の取り組みを実施している。

【発表資料】

https://www.gk-p.jp/wp-content/uploads/2024/07/7_suwako2024.pdf

発表⑧滋賀県下水道課「滋賀県における資源循環の取組～小学校での環境教育との連携～」

【発表資料】

https://www.gk-p.jp/wp-content/uploads/2024/08/8_shiga2024.pdf